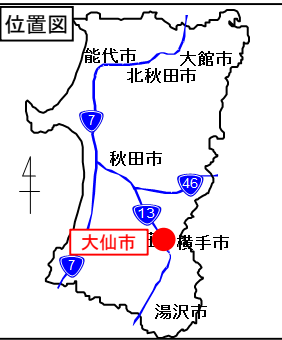


# 「生活道路対策エリア」の取組事例 だいせん おおまがり (大仙市大曲地区の事例) 【視覚的狭さく・イメージハンプ・ゾーン30路面標示】

- 重要対策区間(市道大町通)では、30km/h超過割合が高いため、協議会を開催し、住民と協働で速度抑制対策を検討
- 速度抑制対策を実施(視覚的狭さく、イメージハンプ、ゾーン30標示)したほか、社会実験として仮設ハンプを設置
- 市道大町通の30km/h超過割合が6ポイント減少するなど速度抑制効果が発現
- 平成30年8月に車線幅員を縮小する追加対策を実施(効果検証については分析中)

## 取組概要



- 協議会等の開催**  
住民、学校関係者及び関係機関で協議会等を開催し、対策案を検討
- H28.11: 大町通の交通課題を関係者で共有
  - H29.2: 住民説明会で対策素案を共有
  - H29.3: 具体的な対策案について関係者で合意
  - H29.7: 対策の実施と効果～10 検証
  - H30.5: 効果検証結果と改善案を関係者間で共有

協議会実施状況

## ビッグデータ分析結果



## 整備状況



ゾーン30路面標示 (2箇所: 図中■)

視覚的狭さく (10箇所: 図中▲)

イメージハンプ (8箇所: 図中●、★)

仮設ハンプ (1箇所: 図中★)

※期間限定(10/24~26)

## 整備効果

	30km/h超過割合		平均速度		急減速発生状況	
	エリア全体	市道大町通	エリア全体	市道大町通	回数	発生トリップ割合
対策前	17.6%	57.8%	18.5km/h	30.9km/h	62回	2.5%
対策後	21.5%	51.7%	19.9km/h	29.4km/h	46回	1.2%

(3.9%) (▲6.1%) (1.4km/h) (▲1.5km/h) (▲16回) (▲1.3%)

【出典】1. 履歴点データ: ETC2.0プローブデータ (30km/h超過割合) 【対策前】H27.4~H27.8 【対策後】H29.8~H30.7 (急減速) 【対策前】H27.4~H28.3 (892トリップ) 【対策後】H29.8~11 (893トリップ)  
2. 背景地図: 国土地理院